

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	3399
部 名	土木部	課 名	下水道管理課	課長名	小菅庸夫	
事務事業名	公共下水道維持補修事業					
予算上の事務事業名	公共下水道維持補修費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630			
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度	
施 策 名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等	下水道法第3条（管理）					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要	<p>（1）事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>下水道施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持補修する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。</p> <p>（2）対象（誰、何）</p> <p>公供下水道整備済区域</p> <p>（3）平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>下水道施設修繕 修繕 75件 内訳 汚水桝・取付管等の修繕 25件、 人孔蓋の修繕 22件、 流量計施設の修繕 2件、 マンホ - ルポンプ施設の修繕 8件、 管きよの修繕 1件、 陥没等の緊急修繕 17件</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	類似施設がある他市においても同様である。					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	92,390	78,432	67,614	67,202	67,202	
一般財源	34,448	33,019	25,220	66,202	66,202	
受益者負担金	57,942	45,413	42,394	1,000	1,000	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140	
事業コスト合計(a)	109,170	94,452	83,754	83,342	83,342	
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）						
主たる事業名	施設修繕料		対象名称 (単位)	修繕件数		
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	86,572	72,989	62,146	61,773	61,773	
対象数	97	83	75	75	75	
単位あたり経費(円)	892,495	879,386	828,613	823,640	823,640	
前年度比		0.99	0.94	0.99	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	施設補修件数	指標式と指標の説明	施設の補修		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	97.0	83.0	75.0		
目標	97.0	83.0	75.0	75.0	75.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設補修率(%)	指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 補修率の増減により施設維持の健全性をみる。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	良好な状態を維持する事業			
	[ ]	概ね良好な状況である事業			
	[ ]	見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市民が安全で安心して暮らせるよう、適切で計画的な修繕を行い、施設の延命化を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			経年劣化に対する維持補修費の増加が懸念される。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			